

CONTENTS 5・6月 ALL 40PAGES

PAGE 02

協会NOW
2024年度 新年度の挨拶
二つの総合健診センターと共に新たな門出



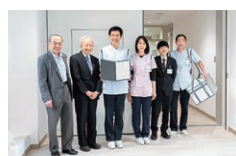
PAGE 03-10

2024年5月14日NewOpen『県央健診スクエア』
お客様の満足度パーフェクト!を目指す
県央健診スクエアのスタッフ、「ただ今、奮闘中!」



PAGE 11-16

医学協会の確かな安心 (シリーズVol.38)
臨床検査部が毎年参加する、外部精度管理の成績
と外部研究発表での受賞を報告



PAGE 17-22

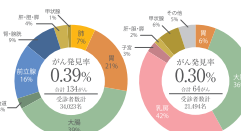
2024年4月4日リニューアル
人間ドック「すこやか弁当」
テーマは、腎臓をいたわる食事



PAGE 23-28

2022年度最新データによる
医学協会の人間ドックとがん検診の結果

198件の
がんを発見!!



PAGE 29-36

第60回 衛生管理者研修会の講演から
ダイジェスト版で解説 加倉井さおり先生による研修
「自分と周りをより良くするコミュニケーションとは」



PAGE 37-38

表紙の写真「三条市森町・フォトとトレッキングで楽しむヒメサユリの小径」
編集者からのメッセージ

医学協会の新たなロゴ「新潟ウェルネス」。その名称にある「ウェルネス」は、英語の「Well (健康な)」を名詞化したもの。米国の医学者ハルバート・ダンが提唱した健康概念で、「単に病気ではないだけではなく、輝くように生き生きしている状態」を意味します。皆様の健康維持・管理のため、ベストな健診体制を整え、また、健診結果にもとづいた、ベスト・コンディションのキープ (あるいは、改善のために積極的に活用) に寄り添いたい、との思いからのネーミングです。



医学協会の新たな挑戦として、4つのコンセプト①お客様から第一に選ばれる施設 ②検査時間が短く利用しやすい施設 ③男女別エリアで受診できる施設④DXによる効率的でスムーズに受診できる施設に基づきオープンした「新潟健診スクエア」に続き、「県央健診スクエア」も始動しました。今号では、「県央健診スクエア」のオープン前のリハーサルの様子や各担当者と各専門職など、新施設で働くスタッフのメッセージを兼ねて特集します。また、確かな安心シリーズでは、自前の検査室で日々、検体検査の精度管理と品質管理に努め、積極的に外部精度管理に参加して高い評価を獲得している臨床検査部の取り組みを報告します。

二つの総合健診センターと共に新たな門出 「健康診断は何処で受けても同じ?」ではありません

(一社)新潟県労働衛生医学協会
会長 佐藤 幸示



新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類から5類 (インフルエンザ等) に移行してから、1年が経過しました。

今年のゴールデンウィークでは、コロナに関するニュースもほとんど無くなり、レジャーやスポーツ、里帰りや観光地へと、出かける人の数はコロナ前と同じ程度に回復しました。しかし、健常者にとっては、軽い風邪くらいで治まりますが、体力や免疫力の無い高齢者や基礎疾患のある人にとっては、まだまだ油断してはいけな怖い感染症です。当会は病院部門、老健部門がありますので、引き続き、職員から患者様、入居者様への2次感染を起こさないよう、気を緩めず、しっかりとした対策を維持してまいります。

昨年から、当会60周年記念事業として進めてまいりました2ヵ所の総合健診センター「新潟健診スクエア」「県央健診スクエア」がそれぞれ今年度4月4日、5月14日に無事オープンいたしました。

その新たな施設のコンセプトは、「第一に選んでいただける設備とシステム」「検査時間の短縮」「ゆったりとした気兼ねのない男女別エリア」「DX (デジタルトランスフォーメーション) による効率化、差別化」です。オープンしたてですので、何かとご不便をお掛けすることもあるかと存じますが、日々改善を重ねてまいりますので、ご活用の際、宜しくお願い申し上げます。

さて、私ども健診業にとりまして、お客様にお届けする成果物は、単純に言いますと、検査データなどの数字の羅列と疾病の有無しだけです。製造業等の成果物は「品物」となりますので、見たり、使ったりと直接手に触れ、微に入り細に入り、その優劣を評価できますが、検査データという数字の羅列だけでは、そのデータの正確性、信頼性を評価することはできません。

しかし、健康診断、人間ドックは何処で受診しても同じではないことをご理解ください。当会は疾病を見つける技術の向上のために医師および技師に対し、積極的に専門学会の認定取得を推進し、また、正確な検査データをお届けするために自前のラボでは検査室の国際規格ISO15189を県内の医療機関では初めて取得し、維持しています。併せて外部審査機関 (人間ドック健診施設機能評価等) による審査も積極的に受けております。そして、「やりっぱなし健診」ではなく、しっかりと寄り添えるフォローアップ体制も充実しております。

皆様方から確かな安心をこれからもいただくために、見えない所にも、しっかりと力を注いでまいりますので、今後とも、ご理解、ご愛顧の程宜しくお願い申し上げます、新年度の挨拶とさせていただきます。